

フレッシュアップ コミュニケーション



東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'26.6

ご挨拶



同窓会会長 古谷 顯史郎

会員の皆様には、平素より同窓会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は、運動会と文研を見学させて頂きました。コロナ禍の影響も無くなり、運動会では、生徒諸君の楽しそうな歓声と真剣に競技に向かう姿を見て、安心致しました。文研では、自由研究が多数展示されて、多くの保護者の皆様も真剣に見学されておりました。以前より、保護者を含めた学校行事の参加者数が多くなってきた様に思われます。多くの関係者の皆様に、学校の現状をご理解頂くことは、学校の発展にもつながると思います。今年4月に馬場校長が退任され新たに岩田先生が校長に就任されました。新校長の岩田先生は、教育学博士でラガーマンと伺っております。今後のご活躍を祈念いたしたいと思っております。

今年度の同窓会総会は、7月4日(土)に小学校ランチルームで48期の幹事の皆様のご協力を得て開催させて頂きます。総会後の懇談会は、是非多くの会員の皆様にご出席頂き、親睦を深め、中学校時代を思い出して頂ければ幸いです。

最近の国立大学法人については、読んだ方もおられると思いますが、4月6日の毎日新聞一面と社会面に限界/大学 国立大付属校縮小の動き、交付金減 財政難影響かという記事と、横国大と東京科学大 付属校の連携検討という記事が掲載されています。我々としても学校と情報を共有し、今後の動向に注意して行きたいと思っております。

母校の教育活動は、80周年に向けて「未来の学校プロジェクト」に注力し、2028年3月に記念式典を計画しております。また、同窓会では、記念誌を企画し発行いたしますので、その他の費用を含め会員の皆様へ寄付をお願いしたいと考えております。

同窓会は、従来通り名簿の管理と会員の皆様の親睦を図る事が第一と考えて今後の活動を継続して参ります。結びになりますが、学校の発展と会員の皆様の健康を祈念致します。ご挨拶とさせて頂きます。

令和八年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第48期(平成8年度卒業)

○日 時: 令和8年7月4日(土)

【受付開始】14時00分より

【第一部:総会】14時30分~15時00分

【第二部:懇談会】15時15分~16時30分

同窓会総会後の懇談会では、全同窓生と飲食やお茶を楽しみながら、歓談・レクリエーションなどを予定しています。詳しくは6月以降に同窓会のホームページをご確認ください。

竹早中 同窓会 検索

○会 場: 竹早小学校 ランチルーム

○会 費: 一般 4,000円

ご招待 来年度担当年度の第49期の方々

※本年度担当48期・次年度49期のみなさま、
お問い合わせの上、ご出席ください。

※本年度よりご出席のみの返信とさせていただきます。
住所等の変更は返信ハガキでも受け付けます。

ご出欠ハガキの返信期限 6月19日(金)

竹早中学校 創立80周年に向けて 支援寄付金の拡充のお願い

母校の80周年式典が令和10年3月に举行されます。

同窓会ではお預かりした年会費・支援寄付金を毎年、クラブ活動援助金、技能強化支援金、卒業記念品を提供し、教育環境を応援してきました。また、1997年に竣工された学校施設も約30年が経過し、体育館及び校庭改修に多額の資金を提供し施設維持を行って参りました。

2004年国立大学法人化の主旨に沿い、世界最高水準の大学を育成するため、母校創立80周年に向けて新たな環境整備を進めて参りますので、同窓生の皆様には支援寄付金の拡充をお願い致します。



着任のご挨拶

学校長 岩田康之



今年度から校長を拝命いたしました岩田康之です。東京学芸大学には2000年から奉職しており、研究者としては教育学、中でも教師教育の歴史研究を専門としてきました。旧・東京府女子師範学校の流れを汲む伝統校で働く機会を得たことをたいへん光榮に存じます。80年になるうとする竹早中の伝統を大切にしつつ、一方で同時代的な教育課題のトレンドにもしっかりと適応できるような、温故知新の学校運営を心掛けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

す。生徒たちの学びは、それをサポートする教師たちのさらなる学びやキャリアアップと相補いながら進んでいきます。加えて本校では教育実習生たちの成長の場でもあります。生徒たち、実習生たち。教師たちの環境整備に関わって、残念ながら政府からの直接的な予算措置が充分でない中、これまでも同窓会にはたくさんのご支援を賜ってまいりました。そのことは着任間もない私でも痛いほどわかります。今後の希望を託す営みに向けて、さらなるご協力ご支援のほどをお願い申し上げます。

便利な世の中の裏に潜むもの

副校長 浦山浩史



新聞によると、茨城県を代表する特産品のひとつである「わら納豆」がピンチに陥っている。納豆を包む「わらつと(藁苞)」の確保が難しくなっているためだ

という。わらつとに包まれた納豆は、わらが豆の水分をほどよく吸収することで生まれる菌ごたえや香りがあり、深い味わいが土産物や贈答品として人気があ

る。そのわらつと、加工にはよく乾燥した長さ八十センチの稲わらが使われるが、脱穀後にわらを短く裁断する機能があるコンバインの普及に加え、農家の高齢化も材料不足に追い打ちをかける。わらを集めて天日で干すには人手が必要だが、高齢者(二〇二四年現在の基幹的農業従事者の平均年齢は六九・二歳)には敬遠されるそうだ。

これに対し水戸市は、コンバインに装着して稲わらを裁断せずに長いまま束ねる結束機を購入。農家に貸し出して、年十〜二十トンの稲わらを確保し、それを納豆メーカーに販売している。それでも稲わらを作る農家はかつての十分の一以下。長期的な確保の目的はついておらず、先は見通せない。稲わらはかつて、各家庭で縄やむしろに加工、副業にしていたが、そうしたことも今や目にするのが少なくなった。(読売新聞二〇二六年四月二七日夕刊より一部引用)

環境はいろいろと複雑に絡み合って成り立っている。稲わらはそのひとつのたとえであるが、現代社会も同様であろう。今の中学生にとって、稲わらへの関心は薄い。自分が関心のある知りたい情報は、手のひらの中の端末で検索すればたちどころに表示される。また欲しいものも勞せず簡単に手に入られる時代である。その恩恵は計り知れないものであるが、一方で、大切なものが失われている気が

する。昔はよかった、と回顧する年齢になってしまったが、今を生きる中学生の傍らで何が大切なものを共に考えることができる。そんな時間を竹中生と共に過ごしていきたい。

新任・退任の先生挨拶

●退任あいさつ



馬場哲生

東京学芸大学での定年退職に伴い、本年3月末日で附属竹早中学校の校長を退任いたしました。私は着任が令和5年4月で退任が令和8年3月ですので、この3月に卒業された77期の生徒と皆さんと一緒に竹中に入り、一緒に卒業していくこととなりました。

竹中生について特に印象に残っていることが2点あります。1つが、学びの質の高さです。自由研究・卒業研究の中には大学生も顔負けのものもあり、文化研究発表会の会場では、学会大会のように来客が研究についてディスカッションする場面もあったのが印象に残っています。もう1つが、学校生活や学校行事において生徒主体の準備や運営がなされて

いることです。校外学習、運動会、文化研究発表会などで生徒の皆さんが準備・運営する姿はとても頼もしいものでした。特に運動会では、先生方の指示がマイクを通して響き渡るということはほとんどなく、「先生方はどこにいるのだろう」と思えるくらい、生徒主体の運営が行われていたのが印象的です。

私が竹中で授業をする機会はありませんでしたが、学校行事などで生徒の皆さんの元気な姿に出会えるのが楽しみでした。私の専門は英語教育なので、始業式、終業式、全校集会などの場では、言葉や文化のお話することが多かったのですが、音声だけではわかりにくい、でも体育館では常設のスクリーンがない、という状況下で何か良い方法はないかと考えて、フリップを用意してお話することになりました。毎回、文字や写真をA3の用紙に印刷して両面テープで厚紙に貼っていく作業をしたのが懐かしい思い出です。

この4月より、校長は岩田康之先生にバトンタッチすることとなりました。また、私の在任中には5人の先生方が退任され、新たに6人の先生方をお迎えしました。新しい血、新しい風を入れながら、竹早中学校が良き伝統を継承しつつ、常に進化し続けていくことを大いに期待しております。

今後とも竹早中学校をご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

.....

中込泰規



5年間という期間でしたが、この間には本当にさまざまなことがありました。

着任当初は、まさにコロナ禍のただ中にあり、観察や実験を行うことさえ難しい状況でした。実践研究を志して竹早中学校に赴任した私にとって、どのように打開していくべきか悩む日々でもありました。

一方で、そうした制約の中だからこそ工夫を重ね、これまでとは異なるアプローチで実践に取り組むことができたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。また、生徒の皆さんが「今、自分にできること」を模索しながら活動している姿から、どのような状況でも自ら限界を定めるのではなく、可能性を広げていくことの大切さを、私自身も学ばせてもらいました。

現在の竹早は、5年前とは異なる姿になっています。しかし、時代や状況がどのように変わっても、変わらず大切にされているものがあると感じています。それが何かについては、あえてここでは述べません。この文章を読んでくださっている皆さんが、「それは何だろう」と考

えるきっかけになれば幸いです。

改めて、5年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

.....

●新任あいさつ

中山南斗



今年度からお世話になることになります。中山南斗と申します。担当教科は社会科で、二年C組の担当をさせていただきます。

これまで、長野県内の学校で教員をしていました。私が赴任していた学校は、自然豊かで雪深く、部活では、クロスカントリースキーやスキージャンプの顧問をしたこともあります。

この度、縁あって竹早中学校に赴任し、気遣いができ、よく対話する生徒の皆さんの姿を目にし、これからの学校生活への期待が膨らみました。今後は、竹早中学校の一員として、生徒の皆さんと共に学び、成長していけるよう努力してまいります。

保護者の皆さんや同窓会の方々のあたにかいご支援に支えられながら、生徒が安心して学びに向かえる環境づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

.....

廣瀬雄二郎



はじめまして。四月に着任しました廣瀬雄二郎と申します。今年度は2年B組の担任

と、2年生の理科を担当します。

以前は神奈川県で自動車の設計士をしていました。その後、教育について学ぶため大学に入り直し、学芸大学の大学院で学び、都内の公立中学校での勤務を経て現在に至ります。

現在は、竹早中学校で個性化教育の研究をしています。個性化教育は、子どもたちが自分の個性と向き合い、他者と協力しながら自分にあった学びを生み出していく。そのような教育です。日々の授業では、「先生！これやってもいいですか？」「こんなことがしたいです！」「竹中生の自由な発想と強力な学びのエンジンに驚かされるばかりです。」

このような自由な学びの文化を創り上げ、支えてきた後援会の皆様、保護者の皆様のお力添えをいただきながら、教師として、子どもたちの個性が輝く学校生活のために尽くしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

あの頃の私たちへ、 そして今の私たちへ

48期生が卒業してから、まもなく30年を迎えようとしています。
それぞれが歩んできた時間の中で、竹早中学校で過ごした日々は、
今も心のどこかに大切な思い出として残っているのではないのでしょうか。

当時ともに学び、笑い、時には悩みながら過ごした仲間や先生方との時間は、かけがえのない青春の1ページです。
今回の節目にあたり、この学年を温かく見守ってくださった先生方の思い出とともに、あの頃の日々を振り返ります。

現在の校舎に集い、懐かしい記憶を語り合いながら、それぞれの30年を分かち合えたら幸いです。
総会当日は、先生方や同窓生、先輩・後輩の皆様と再会し、あの頃と変わらぬ笑顔で語り合しましょう。

48期へ

加藤 英明



皆さん、お久しぶりです。48期の思い出といえは、何といっても校舎改築です。

うぐいす張り?の廊下や一枚板の階段の校舎は半分に削られるは校庭も使えなくなるは大変でしたね。

運動会を大泉のグラウンドで行ったことは、今でも忘れられません。

また改築後は制服も一新したので、私にとっては、皆さんが旧タイプの制服で見送った最後の卒業生となりました。

特に女子のボレロ型の上着と若竹色(人気がイマイチ)の夏服が特徴的だったのが今でも懐かしいです。改築後の学校を見ていない人は、ぜひ観に来てください。

さて私の近況ですが、5年前に竹早で定年を迎え、その後、非常勤で4年間務めてから教員を引退しました。

途中4年間、大泉に勤務しましたが、竹早では延べ35年間勤務しました。

人生の半分以上を過ごした竹早中は、まさに自分にとってのホームグラウンドとなりました。

昨年度からは部活動指導員(職員)として週2回、ダンス部の顧問として勤務しています。ダンス部の顧問をしている関係で、最近では、なんと韓流の曲をよく聴いています。推しはLE SSERAFIMやBLACKPINK、2ZEB1(知ってますか?)といったところですね。

家で生活では、運動不足にならないように、週に1〜2回は趣味のゴルフの打ちっぱなしに行くようにしています。

またドジャースの大谷翔平選手が推しで、シーズン中は、ドジャースの試合にあわせて生活するなど、悠々自適?な毎日を送っています。

48期の

みなさんへ

平賀 伸夫



お元気ですか。卒業してから30年が経つんですね。

それぞれが個性を活かし、自らの道を切り拓きながら社会に貢献していることと思います。頼もしい限りです。

私は3年間、みなさんの担任を務めました。たくさん思い出があります。

当時、校舎改築の真っ最中でした。特に3年生の頃は、普通教室が使えず、スタジオや社会科室をホームルームとして過ごしました。

美術や技術の授業は理科室で行い、体育は外部の施設を利用するなど、普段とは異なる環境での学校生活でした。

不便も多かったはずですが、今振り返れば懐かしい思い出です。

ただ一つ心残りなのは、卒業式も体育館が使えず、外部の施設で行われたことです。

できることなら、思い出の詰まった校舎でみなさんを送り出したかったとつくづく思います。

私は現在も教職を続けており、大学で教員養成に携わっています。

学生に理科教育の講義をしながら、あの頃、理科の楽しさをみなさんにどれほど伝えられていたのだろうか、ふと自問することがあります。

私にとって、みなさんと過ごした日々はかけがえのない財産です。

30年という歳月の中で、それぞれに多くの歩みがあったことでしょう。これからの人生がさらに実り豊かなものとなることを願っています。

いつか同窓会などでお会いできる日を楽しみにしています。

早蕨の時

森(赤荻) 顕子



「これから、先生が僕らの先生になるんだね」

4月最初の教員紹介がされた後、追いかけてきた新三年生の一人の少年が話しかけてきたのを、今でもはっきりと憶えています。

四十八期生の皆さんとは、授業では三年間国語を担当いたしました。「美しい日本語の遣い手となること」これを、国語を学ぶ目標としています。個々に違う「美しさ」を考えることも大切な学びであると思っています。

そして、三年生からは担任として深くかわることができました。みんな仲がよいのですが、一人一人の個性がレーザービーム状態で、それぞれがそれぞれの輝きを持っている、そんな学年だったと思います。

校舎の改築と重なり、ルーティーンが機能しない、臨機応変の毎日を、考え、楽しんで過ごせていたことが思い出されます。珍しい体験といえば、改築中に出土した、江戸時代の酒器や土器などを手に取ることができました。

まさに、温故知新について、肌で感じて生活していたともいえます。

そんな皆さんも、今や社会の中枢で、世界の未来を担う立場となられ、嬉しく、誇らしく思っています。卒業後、何人かの方々とお目にかかる機会がありました。その都度、早蕨だった皆さんが、立派に成長されて、後輩たちのマイルストーンたる泰山木のように、どっしりとされていること、そして変わらず竹中で繋がれているところを嬉しく思っています。

これから後輩たちの道標として進まれてください。

先輩としても期待していますから。

充実した 制服論議

荒井 正剛



二年生の三学期から学校生活は様変わり。旧校舎が壊され始め、教室は狭くなり、戸外での遊びは屋上に移り、体育や運動部部活は茗荷谷の教育の森で行われました。

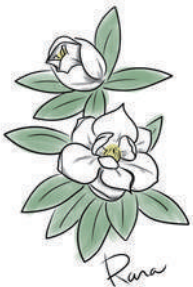
しかも、西原口先生が入院され、楠部先生が担任、私が学年主任を代行しました。

大泉での運動会、かつしかシンフォニーヒルズでの合唱コンクール、千代田区公会堂での卒業式。準備がたいへんでしたね。

生徒会は制服について取り上げ、まず各学級で話し合い、その上で臨時生徒総会を開き、生徒全員で議論しました。制服廃止、夏服の変更など様々な意見が出ました。因みにその前の夏の一定期間、教室が狭くなったので、私服通学が認められました。

生徒全員でじっくりと話し合ったことは、生徒会本部担当者としても嬉しかったです。教員も皆さんの議論を踏まえて、新校舎完成後の制服について議論しました。新しい制服では、夏服がより機能的になり、いくつかの色から選択できるようにになりました。今の制服には皆さんの活動が反映されているのです。皆さんには窮屈な思いをさせてしまいました。それも今はよい思い出と受け止めて頂ければ幸いです。

学び舎は変わっても、生徒の自主性を重んじる校風は変わっていません。「自ら求め考え表現し実践できる生徒」という教育目標は、皆さんの今の生活に生きています。益々のご活躍とご健康を祈念致します。



ページ編集長：ララ

懐かしい
みなさんへ
北ドイツより

楠部 知佐子



もう30年になるのですか！

竹早中では、伊藤雄二先生がミラノ日本人学校に行っておられた3年間勤務させていただきました。それまで私立女子校で教えていたため、男子を教えるとはどんなものか？と少し緊張して最初の授業に向かったのを覚えています。すぐに、男子も女子同様にお茶目で面白く、人懐こくて優しい存在と分かって、とても安心しました。

48期の皆さんとは英語の授業を2年間、また2年生3学期は、手術のため入院された西原口先生の代理としてD組を担当させてもらいました。学年の先生方とは皆で毎年海外旅行に行くほど仲が良く、笑いの絶えない学年でした。

英語関連ではNHK基礎英語のスキットコンテストで取材が入ったり、映画部では、毎週誰かしら関係ない子が混じっていましたが(笑)随分たくさんさんの映画を見ました。私にとつての竹早は「古き良き自由な雰囲気」「自主性の尊重」「自由闊達な生徒たち」です。自分達でどんな物事を進める力強さ、多少不完全でもそれを良しとして任せる教師の力量。それを見守る懐かしの木造校舎。全てが印象深かったです。

竹早中の次は私立男子校で勤務女子校、共学、男子校と全制覇！の予定でしたが、残念ながら体調の関係で辞退せざるを得ず、2年間を自宅で過ごした後は大学で教える始め、学生時代から関心があったシュタイナー教育にも講師として関わる様になりました。

その中で感動や葛藤から、ドイツが発祥のシュタイナー教育の真の現場を経験したいという思いに駆られて引越越し。2、3年の研究のつもりが面白くなって15年も住み続けてしまい・・・
今は当地の大学で英語を教えています。

住んでいる街(Hannover)はユネスコのCity of Musicにも指定されている音楽に満ちた美しい街で、すっかりクラシック音楽の虜になりました。

卒業アルバムを電子で送って頂いて久しぶりに見ましたが、色んな記憶がブワツと蘇ってきて一人一人全員が懐かしいです！
機会があればぜひ近況を聞かせて下さいね。

竹早での 思い出を二つ

西原口 伸一



48期の皆さんは今年45歳になるんですね。私は45歳の時、竹早中で2年生の学級担任をしておりました。その時の2年生が48期の皆さんでした。

この年の2学期の途中から狭心症の症状に襲われ、3学期は長期入院のため休職せざるを得ませんでした。

4月からは3年の担任を希望しておりましたが、3年の担任は激務です。

それに耐えられる体力と自信が無ければ、皆さんに迷惑をかけることになりました。管理職の先生と相談し、進級を断念することになりました。日頃から十分な健康管理を怠っていたことを深く反省した時期でした。45歳の皆さん健康管理を心がけてください。

定年退職を3週間後に控えていた頃、東日本大震災が起きました。私は大学で会議中、あの大きな揺れを感じました。

中央線が動かないので駅近くで自転車を購入し竹早へ向かいました。
20時前学校へ着くと教職員、生徒約200名が居残っていました。夕食は保管している非常食を食べましたが、生徒の口に合うものではありませんでした。

先生方から明日の朝食はパン屋さんに注文しましょうと提案があり、さっそく学校正門前のFパン屋さんに注文の電話を入れました。地震が起きたその夜、想定外の注文のために仕込みを始められ、翌朝(土曜)で学校は休み)注文した人数分のパンを届けていただきました。

後日、パン屋さんへ支払いに伺ったところ

「地震の日、先生方生徒さん大変でしたね。皆さんのご苦労を思うと代金は頂くわけにはいきません。あの時、私はパン屋としてできることをさせてもらいました」と、代金は受け取っていただけませんでした。

私は店主の言葉に深く感動し感謝の気持ちで涙が出ました。また、深夜学校近くにお住まいの保護者の方から教職員へおむすびの差し入れを頂きました。感謝の気持ちでいっぱいになりました。

竹早中は多くの方々に支えていただいています。

編集後記 48期幹事一同

先生方の温かなご協力に支えられ、貴重な時間となりました。赤荻先生のご縁から生まれたこのページ。迅速に導いてくださった荒井先生、構成や文字数に細やかにご配慮いただいた平賀先生、入院中にもかかわらず情熱をもってご執筆くださった西原口先生、校舎改築時代の思い出を語ってくださいました加藤先生、遠方よりご寄稿いただいた楠部先生。

皆様のおかげで誌面がより豊かなものとなりました。心より感謝申し上げます。



令和8年度 同窓会常務理事

会長	古谷顯史朗	13
副会長	松岡 隆司	14
顧問	村上 一路	13
	二瓶 好正	7
	田中 元次	2竹
	三嶋 明	13
監事	正野 敬子	19
総務部	白江 千治	26
	白石 英行	31
	神沼 厚史	40
事業部	田中 充	29
	野島 雅	41
広報部	高島 裕	36
	田近 孝之	43
会計部	永井真知子	19
	石黒由香里	26
	山田 敏晶	40

教育後援会 創竹会から

同窓会会員の皆様には平素より創竹会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

創竹会は国立大学の法人化に伴い大学から付属学校への予算（附属学校教育研究費）が減少する中で、高い教育環境の維持を支援してゆく仕組みとして2001年に発足いたしました。

同窓会の皆様には、2028年度の創立80周年事業に向けた「特別寄付」へのご高配を賜り、更なるご支援をお願い申し上げます。

「特別寄付」制度概要

1 目的

東京学芸大学附属竹早中学校の教育の振興・充実等のため。

2 募集対象

全校生徒保護者、同窓生、賛助会員、一般（希望する個人・法人）

3 受付期間

通年の募集
大学からの「寄付領収書」発行手続きに時間を必要するため、毎年（1月～12月）確定申告に必要な「寄付領収書」発行につきましては、9月30日をもって締め切りとさせていただきます。

4 受付金額

1口10,000円
（一口以上、何口でも結構です）

5 支払方法

ゆうちょ銀行振込
同封の「創竹会（特別寄付用）」と表記のある振込票を必ずご使用下さい。
振込手数料は誠に勝手ながら各自ご負担願います。

※大学からの領収書が届くまで、振込受領書を大切に保管して下さい。

総務部より

名簿デジタルデータ更新について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信葉書にて、毎年調査を行います。変更事項について更新致します。

③随時、郵送又はメール及び同窓会ホームページより、データ提供をいただいた場合に更新致します。

・自分の住所等の変更があった時
・2023年版名簿に記載誤りがある時
・2023年版名簿に友人の空欄（消息不明）をお知らせいただける時
※なお、ご本人が公表拒否を希望されている情報は、同窓会のみ管理となっています。

連絡先・

〒112-0002

東京都小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校

同窓会総務部 白石 英行 宛

HP: <https://akechu-dousokainet/>

④デジタルデータ更新は年2回（3月・9月）行います。

■同期会開催へのデータ提供について
各年次委員に限定し、提供致します。
右記の総務部 白石 英行までお問い合わせ下さい。

同窓会総会報告

令和7年7月5日、学芸大学附属竹早中学校の同窓会総会を無事開催いたしました。

今年は「同期の活躍を紹介する」という趣旨に加え、「皆で楽しく過ごす場になりたい」という思いを大切に、久しぶりに再会した同期や先輩・後輩の皆さまと語らい、笑顔あふれるひとときを過ごしました。

阿波踊りで会場がひとつに
メイン企画では、日本三大阿波踊りの



一つである高円寺でご活躍の写楽連の皆さまをお招きし、迫力ある演舞をご披露いただきました。

さらに簡単なご指導もいただき、最後は参加者全員で踊りに挑戦。幅広い世代の卒業生が同じリズムに合わせて楽しそうに体を動かす姿は大変印象的で、本会ならではの光景であったと感じております。

写楽連の皆さまは総勢35〜40名で越しくださり、心より感謝申し上げます。
なお、写楽連は私たち第47期と同じ1980年に発足されたとのことで、同い年というご縁にも不思議な親近感を覚えました。

贈答品は和久傳の「蓮もち」

また、有志の協力により、ご来賓およびご来場の皆さまへ和久傳の「蓮もち」をお配りいたしました。

「普段なかなか貢献できていない同窓会に何か形で関わりたい」という思いから用意したもので、老若男女問わずお楽しみいただけるよう、口当たりの良い和

菓子を選びました。

恩師との再会

担任の鈴木健一先生、岩瀬三千雄先生にもご来場いただき、懐かしい思い出話に花を咲かせることができました。鈴木先生の低い重低音ボイスや、岩瀬先生の、私たちが現役の時のエピソードを聞かせて頂き、とても感慨深いひと時となりました。

お忙しい中、二次会まで一緒にいただき、心より御礼申し上げます。

開催を終えて

今回の総会は、コロナ禍の影響により小学校の幹事学年を務めることができなかった私たちにとって、初めての経験であり、不安の大きいスタートでもありました。

しかしながら、理事会の先輩方のご指導や引継ぎのご支援、また「フレッシュアップコミュニケーション」の誌面作成や当日の運営において、同期の仲間たち

の力を借りることで、無事開催することができました。ここに深く感謝申し上げます。

中学卒業から30年という節目にこのような大役を担わせていただき、「やって良かった」と強く感じております。同期とのつながりを改めて築く機会をいただけたことを、大変ありがたく思っております。

また、突然のお願いにもかかわらず快くご協力いただいた一学年下の後輩の皆さまにも感謝申し上げます。来年度への引継ぎも安心してお任せできるものと感じております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

開催後

今回の総会をきっかけに、後日、お会いできなかった植田先生、山村先生とともに会食の機会を持つことができました。

このタイミングで大変お世話になった担任の先生方全員と再会できたことを、心より嬉しく思っております。

なお、大変残念なことに、2026年4月2日、鈴木健一先生が逝去されたこととご連絡を頂戴いたしました。総会の開催を通じて、生前に直接お会いし、お話しする機会をいただけたこと、恩師との大切な時間を作れたことに深く感謝申し上げますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

ここに同期を代表しまして、先生から賜りました全ての学びに対し、心より感謝御礼申し上げます。本当に、本当に、ありがとうございます。

文責…第47期卒業生 清水 謙吉

2025年度会計報告

(自2025年4月1日
至2026年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	4,820,078	Ⅲ 本年度支出	4,145,740
内訳		内訳	
普通預金	2,512,105	同窓会会報発行費(1)	1,646,090
郵便貯金	2,037,484	総会・懇親会開催費	502,879
小口現金	270,489	常務理事会費	6,228
Ⅱ 本年度収入		総務費	63,000
内訳		文書事務費	8,910
新入会員会費	1,390,000	郵便連絡費(2)	98,545
同窓会活動支援寄付金	725,600	慶弔費	55,000
維持会費	830,000	卒業記念品代(3)	0
2023版名簿売上	132,000	名簿入力・追録作成費	151,888
総会・懇親会 会費	76,000	クラブ活動援助金	600,000
総会その他の物品販売	16,500	技能強化支援金	0
預金利息	3,272	ホームページ作成・維持費	13,200
その他寄付金	100,000	学校への寄付(4)	1,000,000
合 計		差引残高	3,947,710
		Ⅳ 次年度繰越	3,947,710
		内訳	
		普通預金	1,929,346
		郵便貯金	1,874,873
		小口現金	143,491
合 計		合 計	8,093,450

注：(1)送料を含む (2)名簿送料含む (3)昨年度2ヶ年分製作済 (4)80周年記念寄付の1/2

2026年度予算案

(自2026年4月1日
至2027年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	3,947,710	Ⅲ 本年度支出	4,132,000
内訳		内訳	
普通預金	1,929,346	同窓会会報発行費(1)	1,700,000
郵便貯金	1,874,873	総会・懇親会開催費	500,000
小口現金	143,491	常務理事会費	7,000
Ⅱ 本年度収入		総務費	60,000
内訳		文書事務費	10,000
新入会員会費	1,300,000	郵便連絡費	30,000
同窓会活動支援寄付金	800,000	慶弔費	50,000
維持会費	800,000	卒業記念品代	300,000
名簿売上	3,000	名簿入力・追録費	160,000
総会・懇親会 会費	100,000	クラブ活動援助金	200,000
預金利息	1,000	技能強化支援金	100,000
		ホームページ作成・維持費	15,000
		学校への寄付(2)	1,000,000
		差引残高	2,819,710
合 計		Ⅳ 次年度繰越	2,819,710
		内訳	
		普通預金	1,200,000
		郵便貯金	1,540,000
		小口現金	79,710
合 計		合 計	6,951,710

注：(1)送料を含む (2)80周年記念寄付の2/2

同窓会部活動援助金について（2025年度実績）

同窓会部活動援助金につきまして、2025年度は次のような備品に使わせていただきました。

○クラリネット、トロンボーンの新規購入と、現有トロンボーンの修理調整（吹奏楽部）

○デジタイマー（バスケットボール部）

○缶バッジメーカー（いろいろ創作部）

○全国大会・関東大会補助、ユニフォーム代、交通費等（水泳部 3C松本理歩）

運動部は大会での上位入賞に向けて、地道にトレーニングに励んでいます。また文化部につきましても、個性豊かな活動が先生方によって支えられています。例年、ご支援を賜り、感謝申し上げます。今後とも引き続き、部活動に対する応援、ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

学校PTA文化厚生部からのお願い

今年も、文化研究発表会で制服リサイクルのコーナーを準備する予定です。引き続き、ご不用になられました制服がございましたら、クリーニングをしていただき、竹早中学校PTA文化厚生部制服リサイクル宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

維持会費・同窓会支援寄付金ご協力のお願い

同封の振込票を利用せず

「ゆうちょ銀行」以外（ネットバンキング等）からの
お振込の場合は次の通りです。

金融機関名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店 名：〇一九店（ゼロイチキウ店）

預金種目：当座

口座番号：0759200

口座名義：東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

※振込時のご注意：振込人名については必ず
「卒業期」と「お名前フルネーム」を入力してください。

（例）卒業当時「36期D組 竹早花子さん」の場合



（振込人名義 入力内容）「36Dタケハヤハナコ」

※各種振込手数料は誠に勝手ながら各自でご負担をお願いします。

会員の皆様には、維持会費・同窓会支援寄付金へのご協力に御礼申し上げます。

同窓会では毎年母校支援として年度予算から支出させていただいております。

近年は教育の多様化で支援する項目も増加しており、母校生活全体の環境維持にも役立っております。

前述の母校からの報告「同窓会部活動支援金について」でも掲載しております通り、永年に亘りクラブ活動へは支援を続けております。

また、会員の皆様へは、毎年フレッシュアップコミュニケーションを発行しての活動報告や、「総会・懇親会」開催など交流の場を設けさせていただいております。

2028年度には創立80周年記念を迎える母校へも実行委員会を設置して、お祝いのお手伝いをさせていただきます。

しかしながら、社会が以前と異なる情勢になっております現在、同窓会活動にも少なからず影響が出始めております。

そこで、同窓会の安定した同窓会運営と母校支援を将来的に継続させるため、皆様には更なるご支援を賜りたく思いますので、ご協力の程お願い申し上げます。

会計部

※卒業期・クラスのご確認は、この会報紙封入封筒宛名台紙に記載されています。

①維持年会費：2,000円

②同窓会活動支援寄付金（含む80周年）：

（1口）1,000円×お気持ちの口数

編集後記

同窓会会員みなさまへ、本年度発行のフレッシュアップコミュニケーションをお届けします。

私事ですが、最近生成AIなるものを身近に感じる機会が増えています。

取引先の若手担当者からのメール文章に、一定の法則があることに気がきました。それはとある「謙譲語」が文中に多く見受けられます。

話しの流れでそのことを聞いて見ると、「AIで作成しています」「間違いも無く便利ですよ」との回答。

また、とある会合で議事進行と議事録を作成する役目を担っていた時に、閉会後数分にはAIで作成された議事録が、近しい後輩からメールで送られて来しました。

確かに私も検索サービスを利用して物事を検索する場面は日常的に多いです。

でも、日々「〇×AI」利用する機会は「……？」です。

因みにこの編集後記を某有名AIに書いてもらおうと試みましたが、「情報量不足です」とけんもほろろ。

ただただ「凄い技術だな」と受け止めています。

さて、本年度の「総会・懇親会」も同窓生の楽しい交流の場です。

アナログな言葉で同窓生と楽しい時間を過ごしませんか。

当日お待ちしておりますので、みなさま多数でのご参加をお願い申し上げます。

（高畠 裕）

同窓会ホームページをご活用ください。

<https://takechu-dousoukai.net/>